

環境マネジメントシステムの目的・目標

各事業所では、まずその事業所が行っている事業活動、製品の製造やサービス等の色々な側面(環境側面)が、環境にどのような影響(環境影響)を与えているか、また与える可能性があるかを抽出し、その評価(環境影響評価)を行いました。

その結果として、どの環境側面が環境により大きな影響を及ぼしているか、または及ぼす可能性があるかを特定し(著しい環境側面の特定)、それらの環境影響が起こるリスクを小さくするために、目的・目標を明確に定めています。

ISO14001認証取得事業所が定めた主な目的・目標は次の項目に代表されます。

- 廃棄物の削減およびリサイクル率向上
- 省エネ・省資源の推進
- 化学物質の適正管理
- 環境に配慮した製品の開発

これらの目的・目標を達成する為に、責任の明示、手段および日程を含む環境管理プログラム(EMP: Environmental Management Program)を作成し、運用のキーポイントを定期的に監視、測定、記録するシステムを構築し実施しています。

主な環境目的・目標

環境目的	環境目標
廃棄物の削減およびリサイクル率の向上	廃棄物の分別徹底 廃プラスチックのリサイクル化 リサイクル率の向上 一人あたりの廃棄物量の削減 濃厚廃液の全量リサイクル化
省エネ・省資源の推進	紙の使用量の削減 水使用量の削減 電力量の削減 エネルギー管理システムの構築
化学物質の適正管理	化学物質の使用量削減 PRTR制度への対応のための準備 外因性内分泌攪乱化学物質 環境ホルモン に対する現状把握 化学物質監視設備・運用の強化 化学物質安全運用のための緊急時対応訓練の実施
環境に配慮した製品の開発	製品の消費電力の削減 製品のリサイクル部材の抽出 製品廃棄時の手順の確立 製品に使用する薬液量の低減 製品に使用する規制対象フロン全廃